



2.39 PDA 埼玉県立浦和高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2019 年 11 月 8 日（金）16:15-17:45

会場：埼玉県立浦和高等学校

参加者：生徒 27 名、教員 5 名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、名古屋工業大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

昨年もこの体験会に参加した生徒と、今回が即興型の英語ディベートは初めてだという生徒がいるなか、体験会がスタートしました。初めに、ルール説明、POI（point of information: ディベート中に質疑応答をリクエストするルール）の練習、モデルディベートの視聴を行いました。POI の練習では昨年もこの体験会に参加した生徒が見本のポーズを披露してくれました。モデルディベートの視聴後は内容解説や POI の重要性についての解説が行われました。

ルール説明が終わると、いよいよラウンドの始まりです。論題が発表されると、チームメイトと準備がしやすいように席を移動し、準備時間から熱気が感じられました。ディベートが始まると、相手の話をしっかりと聞いて反論や再構築をその場で考えてスピーチしている様子が見られました。また、相手の痛いところをつく POI も繰り広げられました。

ディベートが終わると、各テーブルについているジャッジから、勝敗、その理由、個人コメント、ベストディベーター・ベスト POI 賞の発表が行われました。ジャッジからのコメントを聞き、真剣にメモをとる様子や、ジャッジに積極的に質問する様子なども見られました。浦和高校の小河先生より、「首都圏交流大会やアメリカ研修に向けて今回のように英語を使う練習をしていきましょう」と激励のお言葉をいただき、浦和高校での体験会が終了しました。



POI の練習を行いました



チームメイトと作戦を練ります

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・お互いに熱く議論し合うことができた。特に議題に対しての知識が深まり、様々な意見を知り、持つことができたことが有意義でした。
- ・準備型よりもチームメンバーと協力してチーム戦感が強くて楽しかった。また終わった後に「ああ～あそこう言えばよかった～」などの悔しさも味わえることで次へのワクワク感が大きかった。
- ・相手に POI をされたときは、いきなりだったので少し慌ててしまった。ある程度準備してから話すことはそこまで難しくないが、突然の質問に答えるにはかなり高度な英語力が求められていると思った。
- ・英語での即興ディベートは初めてだった。相手の肯定意見に対してすぐに反論を考え、英語にするということはとても難しかったため、これからの学習を通してスムーズにできるようにしたい。友達と話し合って話す内容を決めたことが楽しかった。
- ・今日は、即興ディベートの難しさとおもしろさをよく理解できました。実際にやってみて、論理を組み立てるものの奥深さや思ったことを英語で表現していくことの難しさを知ることができました。とてもおもしろかったし、自分の実力を向上するきっかけになりました。

